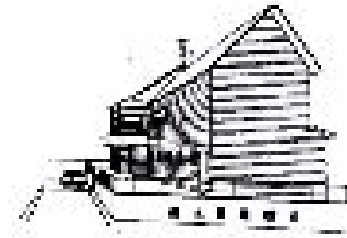


## <今朝の聖書から>

“すべて重荷を負うて苦労している者は、わたしのもとにきなさい。あなたがたを休ませてあげよう。”という言葉が今朝の御言葉として掲げましたが、休ませて頂いているのでしょうか。皆“重荷”を負っているでしょう。“後悔”と言ってもいいし“欲求不満”とか“劣等感”、“いらいら”と言ってもかまいません。また来週は、ヨハネ福音書からシロアムの出来事について開きますが、ここに登場する“生まれつきの盲人”が、恐らくそんな生活を送っていたことでしょうか。最初は願いであったことも忘れて、願いはますます、潜在的なものになり、しかし根深くなり、ただ毎日、うずくまって耐えるように日々を送っていることはないでしょうか。重荷といいますが、毎日のつらい仕事や、病気、挫折（失敗）などを想像しますが、実に根深いものであることが分かってきます。イエス様は、柔和な教師として“教えてあげよう”と仰っているのです。これにはまえがきがあって、25～27節に語られていることから出てきているのです。誰のことかと言いますと“子と、子が選んだ者”のことです（27節）。このような人たちに安らかさが与えられているのです（28節）。また28節は、すべて（の人）と語り出されていることに注意しましょう。すべての人が、子と共に父を知る時、というふうにつながるでしょう。共に“イエスさまが担って下さる私の問題”に現実的に立ち向かうことを学びなさい、と仰っているのです。これが“くびき”なのです。“イエス様解決してください”というのではありませんし“私には無理です”というのでもありません。くびきを負って下さる“柔和な教師”ですから、私たちも困難はするのです。お願いの祈りで“どうしたら解決できるでしょうか、その力をください”と申し上げるのが正しいのです。解決のために必要な力の何パーセントしか、私たちがふるえなくても、必要な条件のかなりのところは主が担って下さるのです。主に解決する力をください、とお願いするときに、ビジョンが与えられます。架空の世界の夢が実現するものではありません。“御国が来ますように”と祈るとおりです。必要な時にはビジョンも変わるでしょう。今はどんな願いのために、イエス様に、ともに担って頂いているのでしょうか。“悩みの種だ”と思っていたことが実は問題でも何でもなかったりすることもあるのではないのでしょうか。隠された神（イザヤ45：15）はいまや、イエス様によって揭示（見え、理解できるように）されているのです。

# 週報

2009年 6月 7日



伝えよう 救い主を  
迎えよう 主の民を

日本フリーメソジスト

## 清水草薙キリスト教会

牧師 村上 定幸

ユース礼拝	毎日曜日	午前 9:00
礼拝式	毎日曜日	午前 10:30
	(聖餐式 第一日曜日)	
夕礼拝式	毎日曜日	午後 7:00
エステル一会	毎水曜日	午前 10:30
聖書研究祈禱会	毎水曜日	午後 7:00
ホームページ	<a href="http://kusanagi.church.jp/">http://kusanagi.church.jp/</a>	

〒424-0885

静岡市清水区草薙杉道3丁目2-26

☎054-345-4070 E-Mail [grace@big.jp](mailto:grace@big.jp)